

普及センターだより

発行日

2025.1.1

第182号

西讃地域の輝く担い手紹介 ⑤



三豊市高瀬町

のぼり ひろき

登 博基さん (32歳)

登博基さんは非農家出身で、県内でサラリーマンとして働いていましたが、キャベツ経営をしている非農家出身の義父の影響を受け、農業に興味を持つようになり1年間の研修を経て平成30年に就農しました。

就農当初は、農地機構を通じて借りることのできた約1haの農地と親戚からレンタルした農業機械を活用し、レタス、ブロッコリー、スイートコーン等の露地野菜を栽培しました。

その後、大型機械を揃えていくとともに近隣農地を借りることで規模拡大し、現在は、夫婦と技能実習生2名でレタス3.4ha、ブロッコリー2ha、キュウリ16a、スイートコーン60a、タマネギ30a、ブドウ5aの経営をしています。「ここまで大きくできたのは無理な投資をせず、雇用をして、作業が無い時期を作らないよう工夫していくことができたため」とのことでした。

「これからは、さらに夏の高温や天候不順により栽培管理が難しくなると思いますが、現状の規模や面積を大きく変化させず、働きやすい職場環境に改善していき、高品質で喜ばれる農産物を作っていきたい」と今後の抱負を語っていただきました。

新規就農者の里親に登録しませんか？

里親制度の概要と研修受入事例

香川県では「本気で農業したい」の想いをサポートする「新規就農者の里親」を募集しており、県内で69人が登録されています(令和6年11月現在)。新規就農者のため協力いただける方は里親登録をお願いします。

里親の要件

次のいずれかに該当すること

- ・香川県農業士、青年農業士、名誉農業士のいずれかである者
- ・過去に5年以上、農業士等を務めたことがある者
- ・新規就農者サポート事業実施要領(右の二次元コード)別記第1の1のただし書きの基準を満たし、研修生を独立就農させた経験のある者

簡単な書類の提出で、すぐに里親登録の申請ができます



里親(県HP)



新規就農者サポート事業
実施要領

里親の責務

- ・本県農業の持続的発展に向けて県、市町及び香川県新規就農相談センターと連携し、就農希望者の受入及び研修等を適切に実施すること
- ・就農希望者の研修期間が終了し、就農した後も状況に応じて総合的なサポートを実施すること
- ・公益財団法人香川県農地機構等関係機関が行う里親向けの研修を受講すること



西讃地区での里親登録農家の取組み事例を紹介します。

研修生の独立をサポートする場合には支援活動に係る経費の支援があります。研修生受入や就農希望者支援の協力をお願いします。

里親の研修受入事例

1 きっかけ (2023年10月)



産地の高齢化、担い手が少ない状況で…

▶今回、受入れた研修生は農業経営課主催の「かがわへ!JU de 就農ツアー」がきっかけで受け入れることとなりました。
▶新規就農希望者との出会いは様々です。

2 短期研修 (2024年2月)



引越など準備をしましょう!!

▶短期研修(1~3週間)では、作業体験だけでなく、研修生の意向や熱意など、研修を進めていくために、話し合いました。
▶お互いに問題がなければ長期研修の準備を進めます。

3 長期研修 (2024年5月~)



初めてのことなので、分からない点は何でも聞いてください

▶長期研修(1年以上)では実際に就農する際に必要なスキルを身に付けるため、農作業を通して勉強します。
▶農業経営、流通など専門分野の勉強は香川県立農業大学校の聴講生として参加し、里親での研修を補います。

4 就農準備 (~2025年4月)



就農までもう少し!!

▶里親が地域に働きかけ、モモ園地を確保できました。引き続き、農地の確保や計画作成など就農に向け準備を進めています。
▶里親の近くで就農できるので、就農後もサポートが受けられます。

里親登録及び研修受入の予定があれば、西讃農業改良普及センター(新規就農担当)までお気軽にお問い合わせ下さい。

花きにおける「土壌還元消毒」について

西讃地域では、令和4～5年度に「グリーンな栽培体系への転換サポート」事業を活用し、マーガレット等の連作障害対策として土壌還元消毒を実証展示しました。

この方法は化学農薬を使用せず、作業への身体的な負担や周辺への薬剤の飛散等がないのが特徴です。

そもそも土壌還元消毒とは？

土壌にフスマや糖蜜等の有機物を混和し、大量の水で満たして被覆すると、有機物をえさに土壌微生物が急激に増殖します。この時の微生物の酸素消費により、土壌が還元（酸欠）状態となるため、土壌病原菌やセンチュウ類が死滅します。

土壌還元消毒の方法（マーガレットでの実証展示の例）

1 土壌の準備

有機物を投入する前に、灌水チューブ等により十分灌水を行い（溝に水が溜まる程度）、底水を与えておき、投入後の灌水時に灌水ムラができないようにします。



灌水チューブで十分に灌水する(砂壤土)

2 有機物(フスマ・糖蜜)の散布

【フスマの場合】

フスマは100kg/aをほ場全体に均一に散布し、ロータリーで2～3回耕耘して15～20cmの深さに混和し、高低のないよう整地します。



フスマの散布

【糖蜜の場合】

土壌改良資材を投入して混和し、高低がないよう整地し、糖蜜は1缶(24kg)/aを水100Lに希釈して、動噴で散布します。



糖蜜の散布

3 灌水の実施

支柱等を土に差し込み、抜いた後の穴に水が上がる程度までほ場に十分な灌水を行い、湛水状態にします。

★砂壤土の場合は、灌水チューブを設置して数回散水することで、湛水状態になるよう心がけてください。



湛水状態

4 透明フィルムで被覆

フィルムと土壌の間に空気が入ると消毒効果が落ち、雑草も生えてくるため、地面と密着させ、つなぎ目はクリップ等で隙間を塞ぎます。



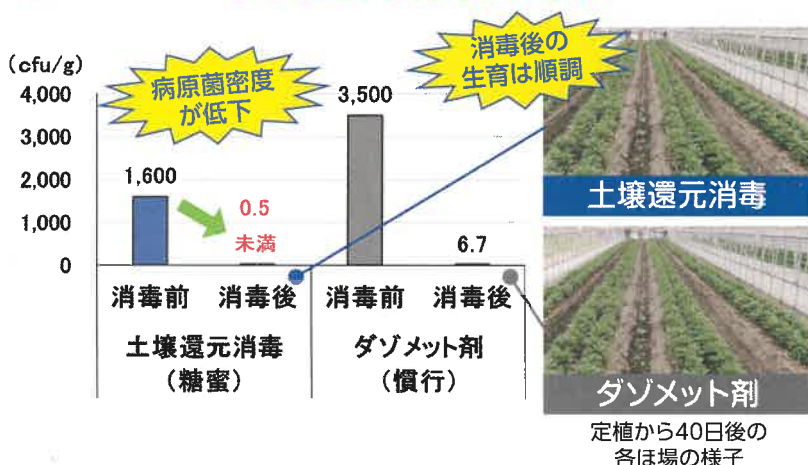
周囲を押さえる

つなぎ目をしっかり閉じる

5 フィルム被覆～消毒後

- ・土壌を還元状態にするには、被覆後3日間地下20cmの地温が30℃以上となる必要があるため、被覆は晴天が続く日から開始します。
- ・被覆期間は30日を目安とし、日射量が少ない4～6月や10月頃は40日程度確保しましょう。
- ・処理終了後はフィルムを除去してハウスを開放します。ロータリーで十分耕耘することで、土壌に酸素を供給し酸化状態に戻します。

土壌還元消毒の効果



注意点

- ★ほ場を均平にして湛水状態を保たないと消毒効果は劣ります。
- ★消毒後に植物の生長が旺盛となる場合があるため、施肥量の調整が必要です。
- ★熱中症に気を付け、作業を行うようにしてください。

資材費の目安 (令和5年度)

資材	金額(円)	仕様
フスマ	11,000	15kgを13袋
糖蜜	8,500	24kg入を2缶
(ダゾメット剤)	8,500	5kg)

(2aあたり)

受賞おめでとうございます

黄綬褒章

前川 茂さん (三豊市高瀬町)

2024年秋の褒章で、高瀬町の前川茂さんが黄綬褒章を受章されました。前川さんは、鉢物生産に40年以上携わるとともに、香川県鉢物園芸協会会長や香川県花き園芸協会会長を務められ、県内の花き経営の向上と花の需要拡大に尽力されました。

本人からは、「この度の受章は生産者の仲間や県の花き担当職員の人達、また一緒に頑張って活動してくれた香川大学のゼミ生達、皆で頂いたと思っています。感謝しかありません。生産はもちろん大事なことです。生産物をどう採算にあう価格で販売できるかが最も重要なことだと思います。需要を伸ばすため、子ども達をはじめ若い人達に花の魅力、花の癒し効果を知っていただく『フラワーバレンタイン活動』、『高校生花いけバトル』も一つの手段です。これからもコツコツと花育活動を続けていきたい」と語っていただきました。



前川 茂さん



全国高校生花いけバトル

第88回香川県畜産共進会

第2部 肉用種牛の部

1区 (7カ月以上~12カ月未満) 中国四国農政局長賞 二宮 誠一郎さん (観音寺市原町)
4区 (48カ月未満) 共進会長賞・知事賞 富田 敏弘さん (観音寺市柞田町)

第4部 肉牛の部

2区 (交雑種) 共進会長賞・知事賞 近藤 政三さん (三豊市山本町)

研修会等の御案内 (詳細は挟み込みチラシをご覧ください)

	会議名	日時	場所	備考
1	令和6年度 西讃の農業を考える研修会	令和7年1月17日(金) 13:30~15:30	三豊市市民交流センター	要申込 (締切:1月10日◎)
		内容:プロジェクト発表(笠田高校) 講演I・II(気候変動への対応等について)		
2	農業DXフェア2025in西讃	令和7年2月18日(火) 9:30~17:00	JA香川県西讃営農センター 3階 大ホール	見学自由 (一部要申込有)
		内容:農業支援システムや環境制御システムの紹介 デジタル技術導入・活用に役立つ情報の提供		

農業者や関係者の皆様へ 🔍

西讃管内の農業経営に関する情報を迅速にお届けするため、

「西讃普及センター公式LINE」を開始しました。

右のQRコードから友達登録をお願いします。



西讃普及センター
公式LINE

友だち
募集中

@772nsoei
5114886@LINE

